

炭鉱電車公開記念イベント開催!



# デジタル掛軸 万田坑 炭鉱電車

写真はイメージです

万田坑の炭鉱電車がカラフルな光に包まれる!

炭鉱電車の公開を記念し、炭鉱電車と最先端のデジタルアートを融合させたイベントを開催します!

7月8日(土)

入場無料

時 日没~21時まで 場 万田坑

場 万田坑ステーション ☎57-9155

主催:荒尾市

イベントは1日限り!  
アートな写真を撮りに行こう!

炭鉱電車のある風景2023

## 炭鉱電車 フォトコンテスト

募集期間 7月8日(土)~8月31日(木)

- ①Instagramで、荒尾市観光協会の公式アカウント「arao.kankou」をフォロー。
- ②ハッシュタグ「#炭鉱電車のある風景2023」を付けてInstagramに写真を投稿。

★ 最優秀賞 賞品 ★

- ・荒尾の特産品 5,000円相当
- ・荒尾飲食店組合加盟店 共通チケット 2,000円券など!

場 万田炭鉱館 ☎64-1300



フォローはこちら

炭鉱電車を撮って  
Instagramに  
投稿しよう!

Interview

三井三池炭鉱  
万田坑ファン倶楽部

会長

陣内 透さん



世界遺産の登録は  
その価値を地域で  
守る挑戦の幕開け。

世界的な産業遺産がある  
地域としての誇りと自信

「アンコールワットをはじめ、さまざまな世界遺産を見てきましたが、それらと同様に価値を認められた世界遺産が荒尾にあることを誇りに感じます」と話すのは、「三井三池炭鉱 万田坑ファン倶楽部」の会長 陣内 透さん。倶楽部設立は約20年前。現在は、元炭鉱マン4人を含む12人のガイドと、倶楽部の立ち上げに尽力した11人の一般会員の計23人が在籍。主に「万田坑ステーション」

でのガイドやイベントの協力支援、学校への出前講座など幅広い活動を行い、万田坑の魅力を日々発信しています。3代目の会長を担う陣内さんは、自衛官として全国各地で勤務し、世界各地で国際貢献に携わってきました。「定年後は、生まれ故郷で地域貢献をしたい」と、64歳の時に46年ぶりにUターン。倶楽部の活動に加えて、年4回、新聞を自主発行しています。「江戸時代の日本は、鎖国によって世界から遅れをとっていました。明治時代に日本古来の伝統技術と西洋の科学技術を融合させながら、わずか50年ほどで世界に追いつきました。そうした偉業を支えたものの一つに万田坑があり、それが世界遺産として認められたという事は、地域の誇りです。よね」と陣内さんは嬉しそうに話します。

市民が価値の伝え手となり  
万田坑を次世代へ守り継ぐ

「炭鉱電車が寄贈されたことで、より当時をイメージしやすくなる

ことでしよう。観光資源だけでなく、教育資源としても活用できるので、実物の炭鉱電車を観ながら市内の生徒などに当時の炭鉱電車の役割も交えて話し、貴重な財産があることを伝えていきます。ネットやテレビ、展示パネルの情報だけでは得られない話もガイドから聞いてもらい、それを自信と誇りを持って次世代に伝えてほしいです」と陣内さんは語ります。万田坑の維持存続は容易ではないですが、過去を風化させないためにも、一人ひとりが万田坑の歴史的背景や価値の伝え手となり、地域一丸となって永く守り継いでいきましょう。

陣内さんの  
ガイドの様子



万田坑の魅力を多くの人に伝えるため  
日々ガイドしています。